



# 海軍さんの ビーフシチュー

「レストラン蜂の家」の「海軍さんのビーフシチュー」。デミグラスソースとトマトソースをそれぞれ蒸気窯で仕込み、ポイルした牛肉とさらにじっくり煮込んだ一皿は、濃厚な味わい。

## 海

上自衛隊、海上保安庁、米海軍のそれぞれの拠点がある佐世保市。港まち佐世保を楽しみたい人におすすめなのが「SASEBO軍港クルーズ」だ。港を出航し、軍港ゆかりの施設などを見学するツアーで、佐世保の魅力を感じる満喫できる。

ツアーの一番の見どころは、なんととっても米海軍や海上自衛隊の艦船を間近で見ることができること。全長二百メートルを超える大きな艦船の迫力たるや見事で、圧倒されるばかりだ。ガイドが行き、艦船の大きさや役割、歴史的背景にいたるまで分かりやすく解説してくれるため、学びが深い。

三十四基のクレーンが並ぶ佐世保重工業佐世保造船所も佐世保らしい風景のひとつ。日本に三台、世界でも十台しか残されていないというジャイアント・カンチレバー・クレーンは現在も現役で稼働しており、国の有形文化財に登録されているほか、日本遺産「鎮守



## 軍港のまちを 潮風吹く 洋上から堪能



# SASEBO軍港クルーズ

府横須賀・呉・佐世保・舞鶴」の構成文化財にもなっている。約一時間の船旅は、佐世保の成り立ちや軍港にまつわるエピソードなど、盛りだくさんの内容であつという間。海軍ゆかりの施設が佐世保発展の礎になっていることに、改めて気付かされる。

潮風に吹かれ、山並みや人々の暮らしが息づく街並みを堪能した後は、海軍ゆかりのグルメでランチといきたい。その名も「海軍さんのビーフシチュー」。ビーフシチューは、佐世保鎮守府の第七代司令長官を務めた東郷平八郎がイギリス留学中に出会い、日本に伝えたもの。佐世保では明治時代の海軍レシピ本「海軍割烹術参考書」にある「シチュードビーフ」をもとにレトロな味わいを再現し、市内のホテルやレストランがそれぞれのアレンジを加えて提供している。佐世保ならではの港まちグルメを、ご賞味あれ。



乗船は佐世保港・新みなとターミナル前棧橋から。黄色の船体が目印。  
※事前にチケット購入が必要